

年末年始及び旧正月の家畜防疫対策の徹底を!!

高病原性鳥インフルエンザは、今シーズンは10月22日から発生が確認され、全国どこで発生してもおかしくない状況が続いています。現在発生リスクが高い時期を迎えており、早期発見・早期通報、農場へのウイルス侵入防止対策の再点検が重要となっています。

アフリカ豚熱および**口蹄疫**については、中国、韓国等の近隣国を含むアジア地域に広く浸潤しており、特にアフリカ豚熱については、本年10月に台湾の飼養豚にて発生が確認され、日本が東南アジアで唯一の未発生国となりました。

豚熱については、野生いのししの感染区域が徐々に広がっており(本年、長崎県、宮崎県、福岡県、鹿児島県で新たに感染確認)、飼養豚においても発生が継続しています。

これから年末年始や旧正月(2026年2月17日)を迎え、人や物の動きが一層活発になり、様々な経路から病原体が侵入するリスクが高くなりますので、**防疫対策の徹底をお願いします！**

➤ アフリカ豚熱、口蹄疫等発生地域への渡航自粛

- 発生地域や非清浄化地域への不要不急の渡航を自粛(やむを得ず渡航する場合は、農場への立ち入りや家畜との接触を回避、帰国時に衣服や靴の消毒等適切な措置を実施)

➤ 外国人従業員への指導

- 日本への持ち込みが禁止されている肉製品等が海外からの携帯品、国際郵便等によって持ち込まれることのないよう周知を徹底
- 国際郵便等の中に肉製品を確認した場合は、直ちに動物検疫所に連絡

➤ 農場への病原体侵入防止対策の徹底

- 衛生管理区域に入場する全ての者が、車両の消毒、当該衛生区域専用の衣服及び長靴の着用、手指消毒等を実施するよう徹底
- 衛生管理区域の境界を明確化し、立入禁止看板等を設置
- 野生動物の誘引防止及び侵入防止対策の徹底(穴、破損、隙間の再点検と改善)

➤ 飼養家畜の健康チェックによる異状の早期発見・早期通報

- 飼養家畜の毎日の健康観察、異状の早期発見
- 異状発見時の連絡先の確認、早期通報

異状があれば、直ちに家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

岐阜県中央家畜保健衛生所

電話：058-201-0530

時間外・夜間・休日：090-7024-5269

